

「健やかな体」の育成のために着目する資質・能力

仲間と共に自ら健康づくりを図る力

目指す姿

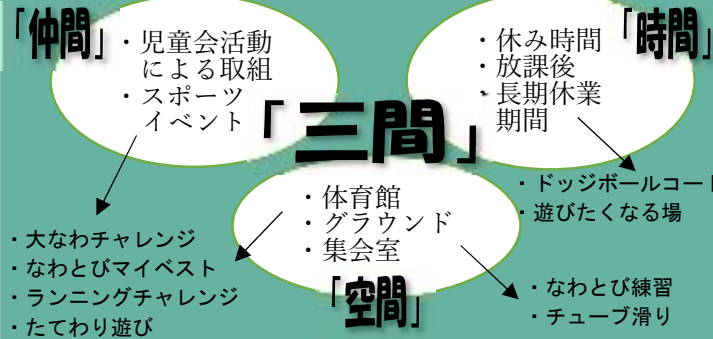
1.2年生（低プロ）で目指す姿	3.4年生（中プロ）で目指す姿	5.6年生（高プロ）で目指す姿
<p><協力して一緒に取り組む姿> 運動に親しみ、友達と協力しながら一緒に体を動かす楽しさを味わう。手洗い、うがい、ハンカチ持参などの生活習慣の定着を図る。</p>	<p><認め合い、励まし合う姿> 互いの良さを認め合いながら、目標に向かって運動に取り組む。健康な生活を送るための基礎や自分の体の健康を守るための行動を身に付ける。</p>	<p><高め合い、自己管理する姿> 仲間と切磋琢磨して集団としての力を高めるとともに、病気の予防やけがの防止など、自身の健康を自ら管理する基礎を養う。</p>
すずかけ学級で目指す姿		
<p><交流での関わりの中で、協力して一緒に取り組む姿> できるところから、共に運動に親しむ楽しさを味わう。</p>	<p><自分自身と向き合い、成長を感じる姿> 昨年度の自分よりできることを1つでも増やし、自信を高める。</p>	

今年度の具体的な取組

①体育・保健体育等の授業の充実

- 運動会など行事と関連させた効果的・効率的なカリキュラムの編成
- ワークシートやICTの効果的な活用による、課題探究的な学習活動の充実
- 新体力テストの全学年実施(目標設定→振り返り)
- マット、跳び箱週間の実施
運動量の確保、職員研修、掲示物などの環境整備
- 自他の体に対する関心を高める保健学習の実践

重点 ②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組



③子ども自ら健康の保持増進を図る取組

- 基本的生活習慣の確立～日常的な生活・運動習慣の把握、養護教諭による保健指導
- 食育の推進～給食週間での食指導、「食に関する指導の手引き」の活用、**食事のマナー意識**
- 児童会活動による体力アップイベント
特に**冬季**の体力アップ等の取組
- 保健便りや給食便りなどを活用した家庭への発信と連携

【令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果】

- 全国平均とほぼ同程度、もしくは上回った種目
【男子】50m走 握力 上体起こし 【女子】50m走 立ち幅跳び
- 運動やスポーツを好きと感じている子ども ●体育の授業が楽しいと感じている子ども
【男子】88.9% 【女子】81.9% 【男子】94.2% 【女子】90.9%

分析

- 強み：1週間の総運動時間について男女ともに全国平均を上回り、運動週間が確立されている。(男子72.2%、女子30.3%が420分以上)引き続き楽しむ環境づくりを推進。
- 女子について総合的に見て体力、運動能力が低い傾向、男女共に**持久力、俊敏性、柔軟性、投の運動能力**に課題

家庭・地域との連携・協働

●出前授業の充実

タグラグビーやダンスなど、外部団体による出前授業の積極的な活用の推進

●アンケートのフィードバック

保護者アンケートや学校評議員による学校評価の効果的活用

●安全性の維持

スキー学習での保護者ボランティア、スキーインストラクターの学習補助依頼

●講師派遣事業の推進

命の重みや大切さを実際に感じる機会として、産婦人科医師や助産師による授業を活用